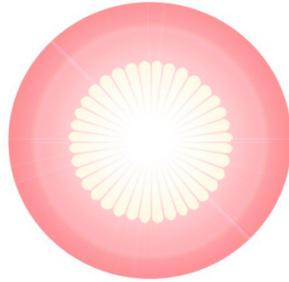


2011年3月18日

## ◎琵琶湖 竹生島レポート◎



水の門が開く。光の門が開く。

琵琶湖の水全体が、根源エンブレムの光の湖で、  
その光で輝き満たされている。  
門を開いて、その光が、関東へ、東北へ、  
そして全世界へ流れるイメージ。

根源エンブレムのエネルギーが溶け込んだ、  
水の光、光の水が、  
雨のように、シャワーのように、霧のように、  
地に降り注ぎ、包み込み、浸透して行く、  
というイメージ。

大地に、ひとりひとりの細胞に、魂に、光が届く。

そのようなイメージを前日に抱いていました。

二日ほど前から、浄化の雪、雪、雪。  
エネルギーを洗い流し、光に昇華させていたよう。  
当日は、すっかり明るくなり、  
太陽も空気も生き生きしている感じ。  
ということで、ずつと行きたかった竹生島に行くことにしました。

Ai先生からは、Lotusさんを通して、

マルテン座標のエネルギーが、琵琶湖の水の門を通過して、  
関東へ流れるイメージ。  
根源エンブレムのエネルギーで。

とおっしゃっていただき、それによってただの観光ではなく、  
エネルギーが動き出したと思います。



湖北、長浜から見た琵琶湖。



フェリーから見た竹生島。

島についたら、ここきたことあるー！という感覚。  
やっぱり、宗像の血がさわぐのかしら。

軽くて明るくて、伝説の島だけど中今に繋がっているようで、  
それもこれも、Gaiaさんと貴さんはじめみなさまが今まで、  
琵琶湖全体の場を整えてきたからなのだなあ、と感じました。



都久夫須麻神社

三大弁天のひとつ。  
あちらこちらに龍がいます。  
根源神のお使いの龍と天女の島。



安産祈願をしました。  
新しい、国生みの安産を願って。



根源エンブレムにマルテンの太陽。



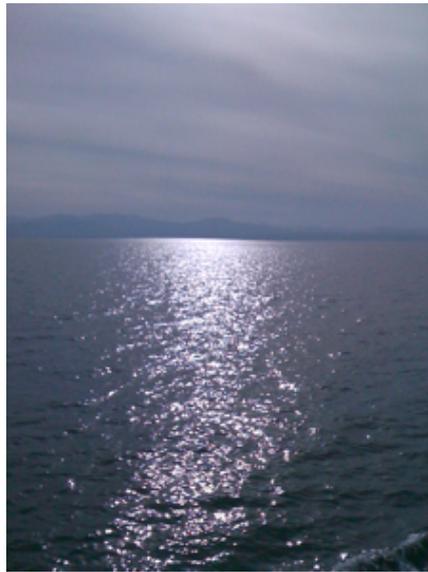
秀吉公の日本丸の船底を利用した船廊下。



観音堂の入り口。どれも、造りがかつこいい。



Ai先生により、根源エンブレムのエネルギー、  
カーさまのエネルギーはすでに降ろされていて、  
常にそこにあるのだから、  
エネルギーをただ感じようとするよりも、私から  
開けば流れる、開けばつながる、つながればつながる、  
ことを改めて感じました。



背中に羽が生えたかな。

光の道ができました。  
とても美しい光景でした。  
太陽の光を映し出していました。

光の水、水の水が、どんどんあたたかく、  
根源エンブレムのエネルギーそのものになっていきそうです。

光よ届け。  
光を求むるところへ、届きゆけ。

光よ照らせ。  
光を望むところへ、照らしゆけ。

光よつなげ。  
生命をともし、道をつなぎゆけ。

光よ運び。  
愛となり、その響きを運びゆけ。

光と光を結び、  
ひとつのおおきな光へ、  
導きたまえ。

光を光へ、  
還らせたまえ。

母なる光へ、根源なる光へ、その源へ。

ひとつの光が、光の道となる。  
新たな光を生み、新たな光を創る。

神聖なる、日の本に、根源太陽の光は昇る。

